

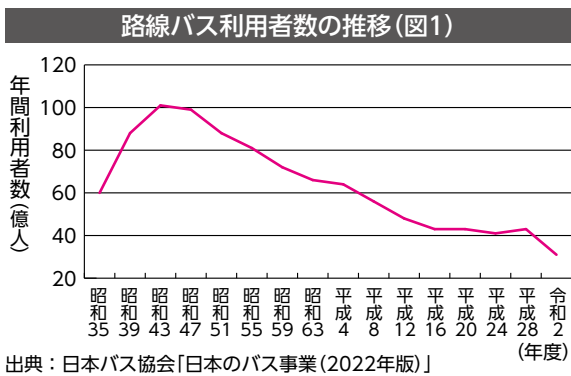
# 貴重な交通手段を未来に残すために

通勤や通学、通院など皆さんの日常生活を支えている路線バス。一方で、運転士不足や利用者の減少により、全国的に減便や廃止などが問題となっています。一人一人が積極的に使用することで、貴重な交通手段を維持しましょう。

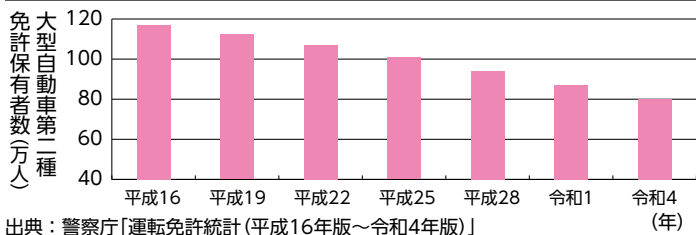
## 利用者の減少が続く 路線バスの状況

国内の路線バスの利用者は減少傾向が続いています。

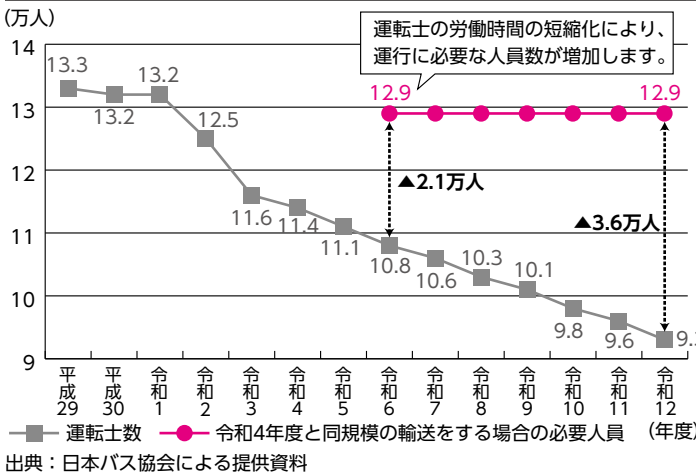
利用者は、昭和43年度をピークに減少に転じ、令和2年度の利用者はピーク時の約3割となっています。



## 大型自動車第二種免許保有者数の推移 (図2)



## 路線バスの運転士の推移と今後の見込み (図3)



利用者が減少したことなどから、令和3年度の路線バス事業者の約9割が赤字となっています。各事業者は、路線バス事業の赤字を、行政からの補助金やほかの事業貸切バス、高速バスなどの利益で補填することで維持しているなど、非常に厳しい状況に置かれています。

## 深刻化する運転士不足

国内のバス事業者の多くは、運転士不足の問題を抱えています。

この要因の一つが、路線バスの運転に必要な大型自動車第二種免許を持つ人が減少していることです(図2)。

また、大型自動車第二種免許保有者の約6割が60歳以上となっていて、高齢化も進行しています。

令和6年4月には、働き方改革関連法が施行され、運転士の労働時間が短縮されます。これにより、運転士不足が一層加速することが懸念されています。

令和4年度と同程度の輸送規模を維持しようとした場合、令和6年度には全国で2万1,000人、令和12年度には3万6,000人の運転士が不足することが見込まれています(図3)。

本市でも運転士不足は深刻な状態にあり、市内を運行する路線バスでも路線の減便や廃止が行われています。

## コミュニティバスの ダイヤ改正

市では、路線バスが走っていない地域などでコミュニティバスを運行しています。運転士不足の問題に対応し、コミュニティバスの運行を維持するため、令和6年4月には、減便を含めたダイヤ改正を行います。

各ルートの改正後の時刻表については、市ホームページ(<https://www.city.narita.chiba.jp/kurashi/page105700.html>)で確認してください。



## 積極的な利用をお願いします

路線バスは、地域に住む人々の日常生活を支える、大切な移動手段です。

その存続のために一人一人ができることは、地域の路線を利用すること。利用することで、必要性が数字に表れ、維持につながります。

貴重な交通手段を未来に残すために、積極的な利用をお願いします。

※くわしくは交通防犯課(☎20・1527)へ。